あさごまちづくりニュース

Vol.7 小さなことからはじめよう！

加藤たかゆき
後援会

2023/8

「小さな図書館」を生野の交流拠点に

	いまの生野庁舎	市の計画案	加藤の提案
庁舎の役割	従来型支所	まちづくりセンター	まちづくりセンター
図書館の機能	従来型図書館（約8900冊）	従来型図書館（約5000冊）	交流型図書館（小さな図書館）

行政サービス中心

貸出中心

行政＋文化＋防災＋…

本＋交流

生野庁舎にある**生野図書室**は、庁舎建替により大きく縮小される計画です。加藤は、**まちづくりセンター**としての新庁舎には、従来型の貸出中心の図書館ではなく、**時代に合った図書館**を設置すべきと考えます。そこで、住民参加による**「小さな図書館」**の設置を市長に求めました。豊岡市の「**だいかい文庫**」などを参考に、交流型の図書館が**コミュニティの再生**につながることを説明しました。市長からは、市民のつながりが広がる施設となるように検討していく、との回答を得ました。

生野図書室

生野庁舎2階にある図書室で、約8900冊。庁舎建替後の計画では、1階に新刊図書の紹介棚を設け、2階の交流室に約5000冊規模の図書コーナーを設置する方針。インターネット等での取り寄せにも対応する。

図書館のミライ

情報化の時代、図書館の役割は変化している。本を収集し貸出すだけが図書館ではない。まちづくりに自主的に取り組む市民の活動の場になったり、そういった活動のきっかけづくりを与えることがこれからの図書館に求められている。

まちづくりセンター

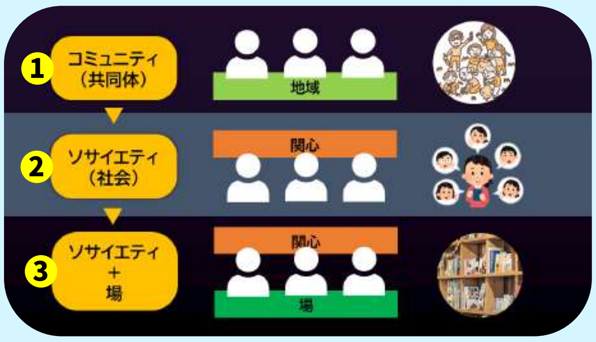
従来の庁舎は、住民窓口等の行政サービスが中心の建物であった。これに対し新庁舎は防災拠点や生涯学習センターなどを複合化して「地域の経営拠点」となる計画。山東庁舎は2020年に生涯学習センターを統合し、まちづくりセンターとしてスタートしている。

小さな図書館

米国発の私設図書館の活動。個人の蔵書を貸しあうことでのコミュニティ再生を目的としている。今回、加藤は生野新庁舎に以下の仕組みを提案した。地域住民が自宅にあるお勧めの本を3冊寄贈し、名札をつけて棚に並べる。それを貸しあう「顔の見える図書館」である。

コミュニティの再生とは

①昔は集落の維持や農地の管理が関心事の中心だった。地域内で人のつながりが生まれた。②近代化以降、土地に基づかない趣味や仕事の活動が増えた。大都市やインターネット空間に人が移った。③いま必要なのは、こういった活動の受け皿となる「場」づくりである。素敵な「場」は田舎に人を呼び戻しコミュニティを再生させる可能性がある。



参考：『マイクロ・ライブラリー 人とまちをつなぐ小さな図書館』（磯井純充［他著］ 学芸出版社）

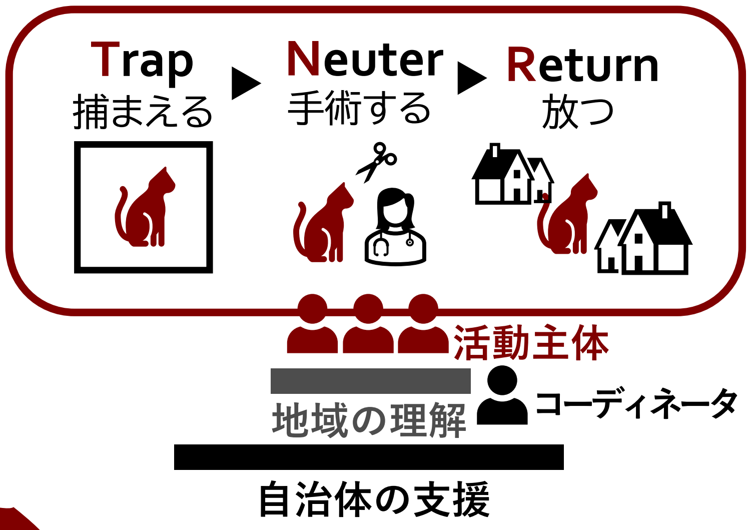
だいかい文庫

豊岡市にある私設図書館。本棚ごとに「オーナー」がいて、その人の置いた本を借りることができる。感想カードを書くとオーナーに届く。カフェも併設。講座や食事会など、人と人がつながる仕掛けが豊富。

野良猫を増やしすぎないために

これまで ▶ これから	餌付け	▶多頭崩壊	引き取り	▶殺処分	地域猫活動	▶共生
猫	○	×	△	×	△	○
猫好き	○	×	△	×	△	○
猫嫌い	×	×	○	△	△	○

地域猫活動＞TNR活動

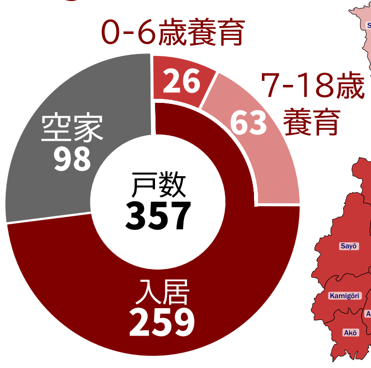


野良猫を増やしすぎないことは、猫好きな人にも、そうでない人にも共通の願いです。野良猫に対しては餌付けをしたり、保健所へ引き取ってもらったり、という方法がとられてきました。しかしどちらも多くは不幸な結末です。

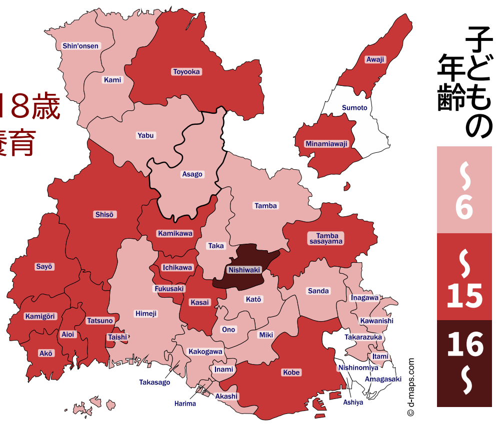
第三の道が**「地域猫活動」**です。野良猫を捕まえ、不妊手術をし、地域に放つという方法です。この活動を自主的にしている方が市内にいます。しかし高額（2万円前後）な手術費用が活動の障害です。**野良猫の不妊手術費用に市が補助をしてほしい**と加藤は訴えました。市長は、まず地域猫活動を地域の方々に知ってもらうよう発信するとの回答を得ました。

耳のV字カットが地域猫の目印です

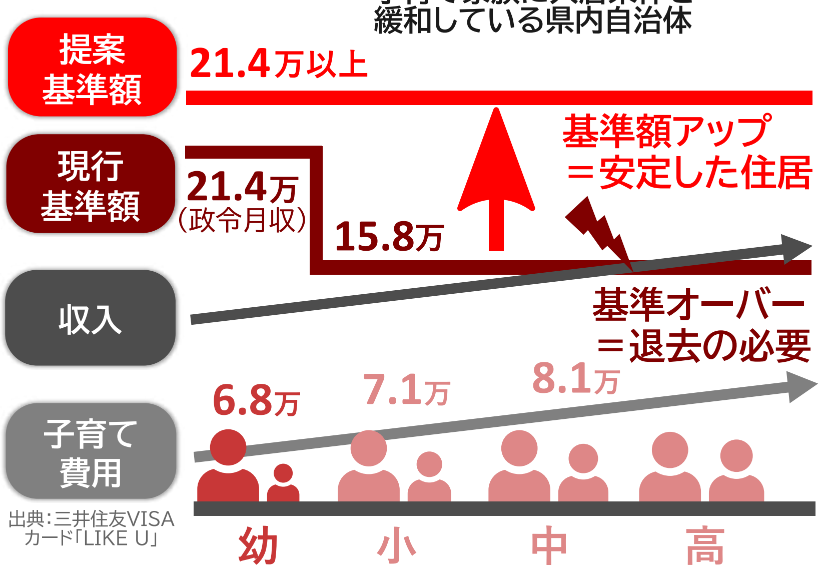
子育て家族に安定した住まいを



朝来市営住宅の状況



子育て家族に入居条件を緩和している県内自治体



出典:三井住友VISAカード「LIKE U」

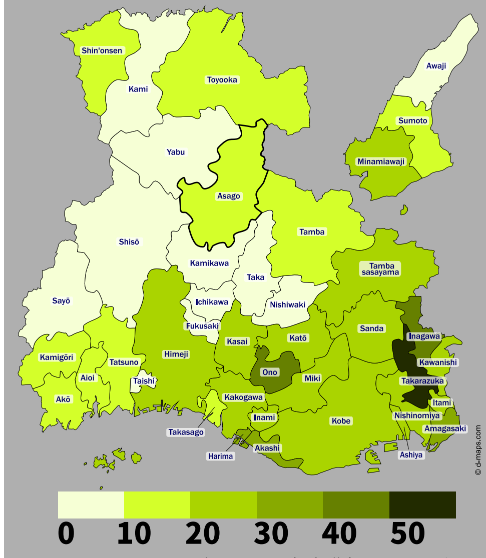
市営住宅は住宅に困窮する低所得者向けの住宅です。朝来市では入居率は72%、入居者の34%は子育て世帯です。一般に、子どもの成長に伴って支出は増えます。頑張って稼ぐと、収入が入居基準額を超え、退去が必要です。このような子育て世帯に厳しい入居条件は課題と感じます。

子育て支援の観点から、**大学生等までの子育て世帯に対して基準額を引き上げてほしい**と加藤は訴えました。例えば西脇市では扶養する大学生等（別居でも可）を養育する世帯まで収入基準を25.9万円に引き上げています。市長からは今年度から作られた「子育て施策プロジェクトチーム」のなかで検討していくとの前向きな回答を得ました。

議員って魅力的な仕事ですか？

～男女比を考える～

女性議員比率(%)



2023年7月1日現在 各議会ホームページ調べ

市民の多様な声を市政に届けるには、議員の年齢や性別はバランスよく構成されるべきと考えます。県内の女性議員割合は宝塚市の53.8%（26人中14人）を筆頭に、猪名川町、小野市が40%を超えています、一方、**朝来市は11.1%（18人中2人）**です。なぜこれほどまでに少ないのでしょうか？

議員という仕事自体は、女性も働きやすい仕事であると加藤は感じています。一方、女性にとってハードルが高いのは立候補や選挙活動です。**頑張っている方に立候補を促す後押し**や、**子育てしながらでも選挙活動がしやすい支援体制**が必要だと加藤は考えます。ぜひ、ご意見お聞かせください！

加藤たかゆき後援会

〒679-3322
朝来市生野町奥銀谷1513

takayuki1983@gmail.com
電話 079-666-8848
Fax. 079-244-1259

一般質問動画配信　加藤の「詳しすぎる」Facebook　LINEでお気軽にご相談を